２０２６年（令和８年）２月１日　日曜日

デーリー東北　８面　掲載

尾形（八学大）、木村（八工大出）フリーへ

フィギュア 成年男子ＳＰ

「気合が入り過ぎた」

尾形、悔しさ残る18位

○…成年男子の尾形広由（八学大）はSP18位でフリー進出。ただ、ミスが重なり思うような演技ができず「もう少し得点を出したかった」と悔やんだ。

昨年末ごろから八戸FSCに移籍し、青森県勢としての国スポ出場は初。初めての地元大会に「緊張も楽しさもあり、良い状態で試合に臨めた」と尾形。直前の成年女子では選手ともSP10位以内の好成績だったことにも勇気付けられた。

ただ、「気合が入り過ぎた」部分も。演技半ばの3回転フリップで体勢を崩し、その後のジャンプも順調のいく出来にはほど遠く、「ジャンプが決まらず悔しい」と唇をかむ。

フリーに向け「きょうミスが出てしまったジャンプはフリーのプログラムにも入っている。練習してきたことを出してノーミスで笑顔で終えられるようにしたい」と意気込んだ。

【成年男子ＳＰ】ジャンプを成功させる尾形広由＝フラット八戸

煌めく 青森国スポ 2026

第1日

第80回国民スポーツ大会（青の煌めきあおもり国スポ）冬季大会スケート・アイスホッケー競技会は1日、八戸市と三沢市で開幕し、2競技がスタートした。青森県勢は、フィギュア成年女子ショートプログラム（SP）で鹿内萌華（青森山田高出、三和建装・法大）が3位、服部琴乃華（十和田高出、東北福祉大）が9位、成年男子では、尾形広由（八学大）が18位、木村真人（八工大出、スーパースポーツゼビオ）は24位となり、上位24人で争うフリーにそれぞれ進出した。

ショートトラックは、成年男子3000メートルリレーに初出場した青森が予選敗退。同1000メートルの今村龍信（八戸三中教、毛利信太郎（八戸西高出、サクサク）は惜しくも決勝進出を逃した。

第2日の1日も、フィギュアとショートトラックの2競技を行う。

（小嶋優太）

フィギュア

◎1日（31日・青森県ラベル八戸）

▽成年男子ショートプログラム

（中村真人（スーパースポーツゼビオ）46・85点）

フリー出場は24位まで

▽成年女子ショートプログラム

（青木雅夢（神奈川・MFアカデミー）73・34点）三宅陽山（シスメックス）68・88点）

・鹿内萌華（三和建装・法大）68・20点）服部琴乃華（東北福祉大）61・71点

フリー出場は18位まで

デーリー東北新聞社提供